

千代田区駐車場計画に係る地域ルール策定に関する要綱

(目的)

第1条 この要綱は、東京都駐車場条例（昭和33年東京都条例第77号）及び特別区における東京都の事務処理の特例に関する条例（平成11年東京都条例第106号）第2条の表第22号の規定に基づく駐車場施設に係る認定に当たって、地域特性に応じた駐車施設の附置の整備基準（以下「地域ルール」という。）の策定及びその適用について、必要な事項を定めることを目的とする。

(地域ルール策定及び適用の申請)

第2条 地域ルールの策定及び適用を希望する者（以下「申請者」という。）は、次の各号に掲げる事項に関する資料を添付し、区長に申請することができる。

- (1) 地域の範囲
- (2) 地域の特性
- (3) 土地・建物利用の現状と将来の計画
- (4) 現状の駐車場需要
- (5) 現状の路上駐車
- (6) 適用を申請する地域ルールの形態
- (7) 地域ルール策定協議会の準備組織の状況
- (8) 千代田区駐車場計画との整合性
- (9) その他必要な事項

2 申請者は、前項の申請とともに、事前に区長と協議の上、地域ルール策定協議会の設置を準備するものとする。

(地域ルール策定協議会の設置)

第3条 区長は前条により申請があり、申請時において次条の要件を充たす組織が成立していると認めたとき又はその後において成立するに至ったと認めたときは、これを地域ルール策定協議会（以下「協議会」という。）として認定する。

(協議会の構成等)

第4条 協議会の構成は、次のとおりとする。

- (1) 学識経験者
- (2) 地元組織の構成員
- (3) 千代田区の職員
- (4) 東京都の職員

- (5) 交通管理者の職員
- (6) その他地域ルール策定に資する者

2 協議会の会長は、学識経験者が勤める。

(協議会の検討事項)

第5条 協議会は、次の各事項を検討し、地域ルールの案を策定する。

- (1) 地域特性に応じた附置義務基準
- (2) 共同隔地駐車場整備等による代替措置
- (3) 遊休駐車場施設の活用方法
- (4) 路上駐車対策
- (5) 荷捌き対策
- (6) 千代田区駐車場計画との整合性
- (7) その他地域ルール策定及び適用に当たり必要な事項

(地域ルール案の提出)

第6条 申請者は、前条により策定された案を区長に提出する。

(策定及び告示)

第7条 区長は、前条の案の提出があり、その内容を適切と判断したときは、地域ルールを策定し、告示する。

(協議会での検証及び区長による見直し等)

第8条 協議会は、当該地域の地域ルールが適用された日から1年毎に結果を検証し、区長に報告する。

2 前項の規定による報告書は、次の各号に掲げる事項を内容とする。

- (1) 個々の建築物に係る駐車場の定期報告(台数、料金、平・休日利用率など)
- (2) 地域全体に係る定期的な検証(路上駐車対策と路上駐車状況、整備効果など)
- (3) その他必要な事項

3 区長は、地域ルールによる附置義務等の特例を認めることが不適当な状況にあると認めるときは、当該状況の是正について申請者等の関係者に勧告する。

4 区長は、前項による是正勧告の日から1年を経過してもなお状況が是正されない場合は、当該地域ルールを改正し、又は廃止する。

(運営費用の負担)

第9条 協議会の運営費用については、申請者又は区が認定する地域ルールの運用を行う組織(次

条において「運用組織」という。)が負担する。

(協議会の事務局)

第10条 協議会の事務局は、申請者又は運用組織が担当する。

(委任)

第11条 この要綱に定めるもののほか地域ルールの方策定及び適用について必要な事項は、別に定める。

附 則

この要綱は、平成16年2月16日から施行する。

附 則

この要綱は、令和7年3月17日から施行する。